

平成30年7月豪雨災害における被災者の方で
支援の介入を受けた方へのお知らせ

当院の今後の災害対応の充実・強化に繋げていくため、平成30年7月豪雨災害における当院での対応を検証し、課題や問題点、評価点や対応策等を検討する研究を行っています。

研究課題名	「平成30年7月豪雨における医療機関と保健所の対応」 -川崎医科大学附属病院の対応の検証
当院の研究責任者(所属)	川崎医科大学救急医学 井上 貴博(准教授)
他の研究機関および各施設の研究責任者	特にありません
本研究の目的	遠くない将来に発生すると言われる南海トラフ巨大地震を念頭に、「災害の発生は時と場所を選ばない」という警戒の姿勢へと軌道修正が求められている。今後の当院での災害対応の充実・強化に繋げていくため、今回の災害における当院での対応を検証し、課題や問題点、評価点や対応策等を検討することを目的とします。
調査データの該当期間	2019年11月1日 ~ 2021年3月31日
研究の方法(対象となる方)	平成30年7月豪雨災害における被災者の方で支援の介入を受けた方約4,100人
研究の方法(使用する情報)	当時の院内対策本部、DMAT本部、庶務課等での活動記録、クロノロジー、写真等を振り返り検証します
試料/情報の他機関への提供	特にありません
個人情報の取り扱い	カルテ等の個人情報は取り扱いません。
本研究の資金源(利益相反)	特にありません
相談・問い合わせ・苦情	川崎医科大学 救急医学 准教授 井上貴博 岡山県倉敷市松島577 Tel086-462-1111 Email:takapyro@yahoo.co.jp
研究分担者	救急医学 教授 荻野隆光、椎野泰和/准教授 宮本聡美/ 講師 高橋治郎、山田祥子、竹原延治、木下公久/臨床助教 上野太輔、稲吉祐樹、岡根堯弘/研究補助員 井手明子/ 医学部学生 松井美樹/附属病院高度救命救急センター 看護師 鼠尾弘恵
備考	